

成年向

FOR adult only

ROOT

RIKUDOU KOUUSHI UC PRESENTS

HAPPY EKAWA

ALL



ROOT

# HANEKAWA ALL

RIKUDOU KOUSHI UC PRESENTS

成年向け

FOR adult only





# 前説

この本を手にとっていただき  
ありがとうございます六道神士UCと申します

バサ姉一冊にまとめました  
ワンキヤウでこんなにかいたの久しぶりです



バサ姉最高です、アニメ最終話のオーディオコメントリーの  
ヒザ乗り説教はヒーローセッションです

正気に戻ったら負けだと思ふので忍びのままGO!







**ROOT**  
**HAPEKASHA**  
RIKUDO-JUKU PRESENTS

episode 1

信じられないことに僕は——

羽川翼と付き合っている

その日の僕らは  
あり得ないくらい  
盛り上がっていた

特にきつかけが  
あったわけじゃない

しいて言えば  
なんとなく  
二人きりなことを  
意識した程度だ

はあッ

ムッ

初キツスにしては  
ちよっとへビーだったかと  
後日一応反省した

はッ

ふッ

キョッ

はッ

ムッ

アッ





初めてのキスで  
舌を受け入れて  
軽く喘ぐ羽川なんて



待って...



つい調子に乗っても  
おかしくないと思う

ここが教室だということ  
危うく忘れそうになった

よし 土下座の準備だ

そうじゃなくて……  
もう……

私……  
初めてなんだよ

待って……  
阿良々木君……

すみません  
調子にのりました





子供の頃？

この世の  
終わりを  
みたい  
な顔  
をした

子供が  
ふざけて  
軽く  
チューした  
だけです  
ごめんなさい

つい最近もしてしまっていることは  
一生黙っていよう……それはともかく

ちゅー……？

あ……



ごごめんね！

私誤解……

羽川が勘違いをするほど  
テンパりながら必至で口にした——

一世一代の誘惑の台詞を  
危うくスルーするところだった

羽川

「こんなことって  
どんなことだい？」

阿良々木君……  
違うんだよ……





妹で経験済みだけど





このへんも妹で経験済みだけど





目の前の――

こんないやらしい  
顔をした羽川に  
集中しよう

えっと：  
私は自分で  
脱いでいいのかな



うん  
眺めだ

もう！  
まじめに  
聞いてるんだよ

いい？  
私阿良々木君が  
どんなに変態でも  
確かめようがないの

阿良々木君は  
正しい初体験を  
リードする義務が  
あるんだよ

ああ羽川――



教えないけど

初体験に  
教室は  
ドンアウトだ

羽川は  
なんでも  
知ってる  
けどな

なんでも  
知らない  
のはよ  
……

もう……  
また言わせる……

阿良々木君の事だけ

CAUTION!







はんっ…  
話の流れからすると  
私…そのスイッチを  
押しちゃったの？

そうだ



あっ…

羽川…  
男には  
スイッチが  
あるんだ



死ぬんだ！

男は  
そのスイッチを  
押されると死ぬ



ちっ  
ちよと  
待って！  
阿良々木君

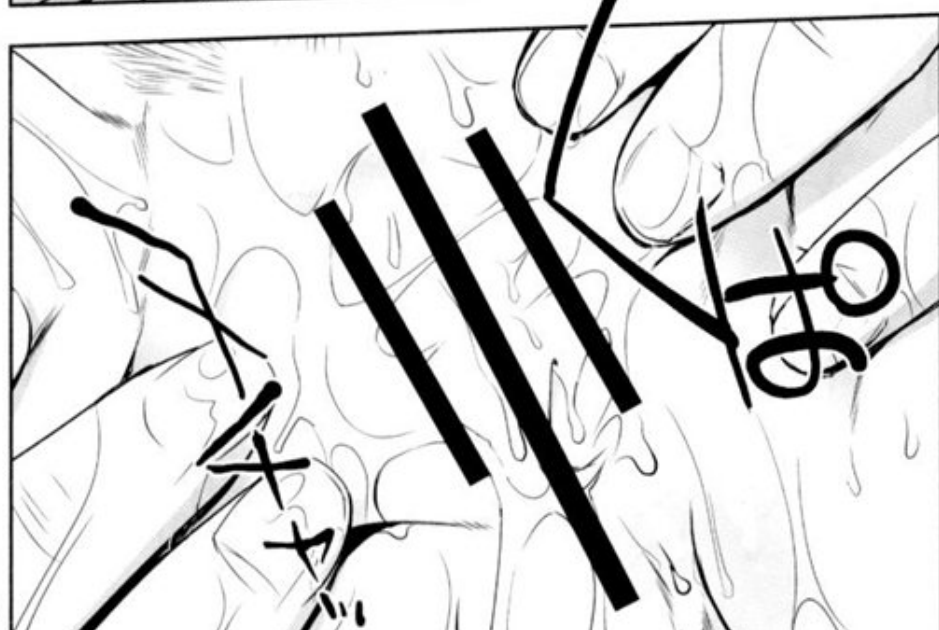
こんなところ  
止めるなんて  
羽川！  
僕を殺す気か



んっ…  
私の責任なのかな…

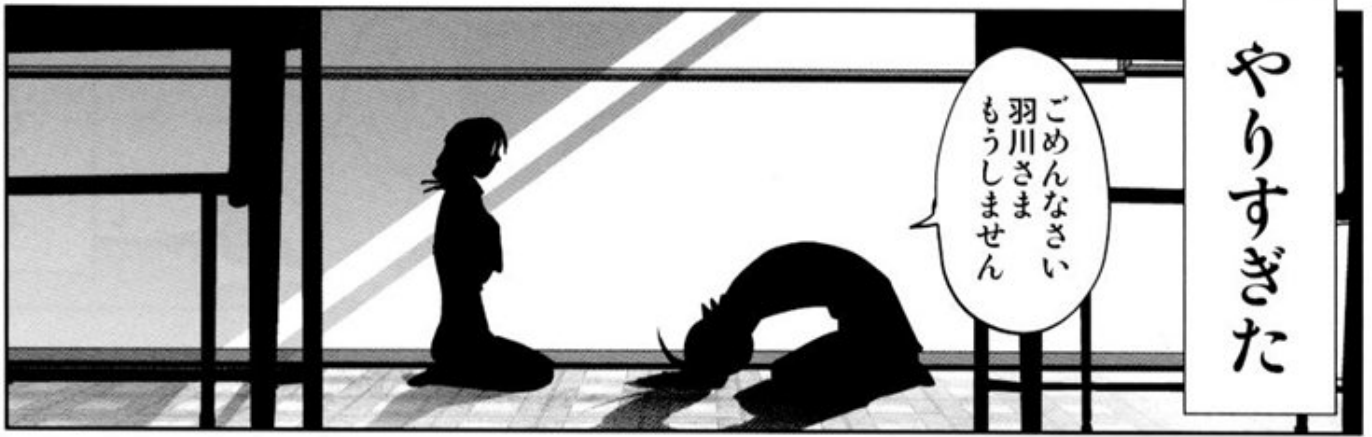
正しくは  
悶え死ぬ！





やりすぎた

ごめんなさい  
羽川さま  
もうしません



僕はもう死ぬかも  
しれない…

まっ間違えないでね!



女の子は  
誰でも  
こうなるん  
だから!

当たり前  
の身体反  
応なの  
一種の  
防御機  
構なの!

性器を  
広げた事  
は怒って  
ない?

え

…そして  
男側の  
フォロー  
全部取  
られた



相手が痴漢でも  
レイプ犯でも  
刺激を受ければ  
同じなの!



目を突いたら  
涙が出るのと  
同じなんだよ!



酷い事を言われて  
少し萎えた…

しょんぼり

え…



ウソだけど







え？

必死で言い訳を  
するなんて  
僕を萌え殺す気か  
羽川



ごめんね  
言い過ぎた

カッ

羽川…？

カッ



刺殺を受けると  
反応するんだよね

男の子も  
その…

カッ カッ カッ カッ カッ カッ カッ カッ



ん…



あれは  
輪切り  
だったし

標本の本で  
見たのと違うね…

怖いこと言うなよ！



暖かい……

なんてことだ

羽川が  
僕のを舐めてる

ぬ  
ぬ



いや  
啜っていると  
言った方が  
エロいのか？

待て！  
一生懸命  
舐めすぎだ！

ちゅ  
ちゅ

ちゅ  
ちゅ



ちよ……

待った羽川！  
僕が悪かった

なんか  
大ひく  
なつふあひよ？

はね……

ふうっ

はっ……





そんな…

そんな  
訳の分からない  
気の使い方をする  
女なんだ！

あっ

えっ？



ひやめえ

阿良々木君！  
舌…  
入れすぎっ…

これは

あーっ

ハッ

あふっ

はっ

はっ

僕のだ



ひやめえっ

アッ

セッ

あっ

くはっ



あ...あ...あ...

アッ

セッ

アッ



ひやめえええ!

ひやめえええ...

アッ

セッ



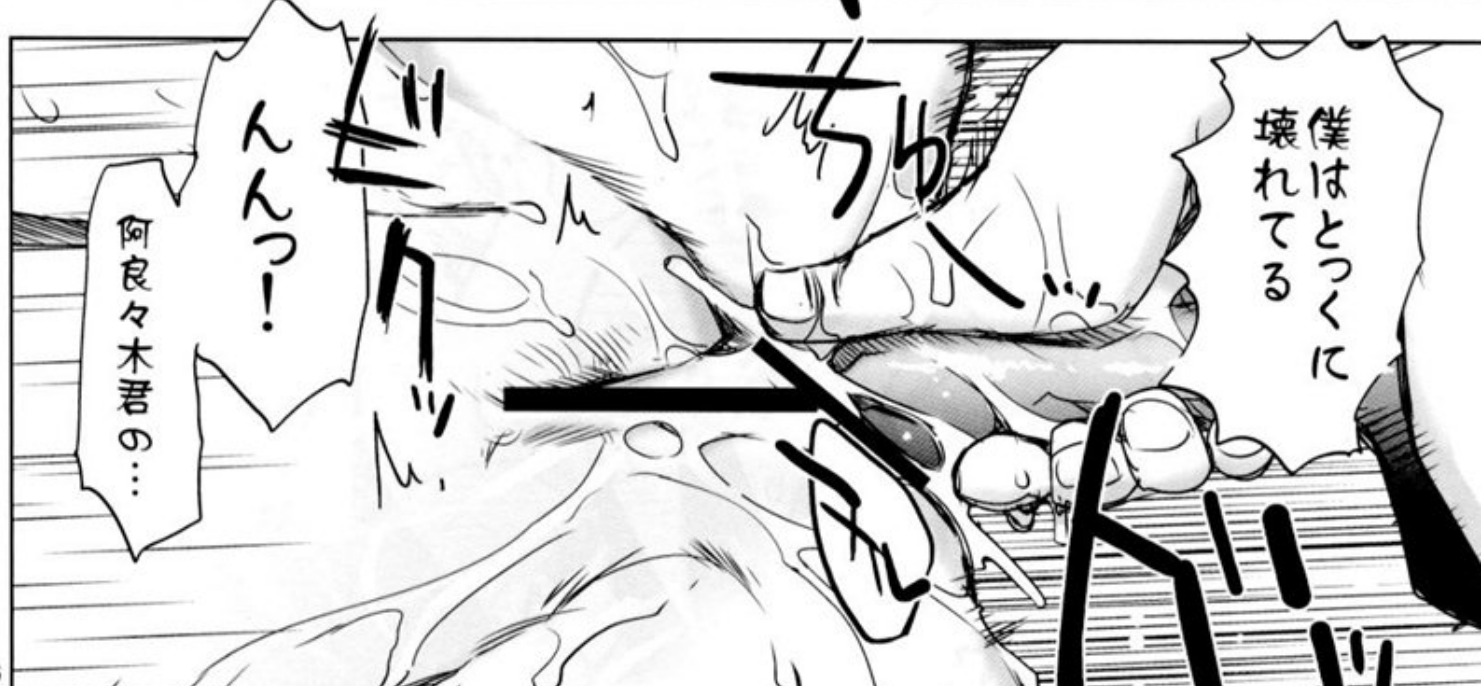




阿・良・々・木・君・に  
触られて：

私：  
壊れそうだよ

アッ  
アッ



僕はとつくに  
壊れてる

阿良々木君の：

んんっ！

アッ  
アッ









はーっ

はー...

はあ

こっぴつこ...

はあ

はあ

はあ

阿良々木君の...  
熱い.....



そんな事言うとう  
回復しちゃうだろ

にやめめめめめ



あ..

かき回してる

めふふ...おへんさ6...

はっつっ

また...あ..

ふああ..







二人で  
盛り上がったつもりが…

羽川は承知の上で  
舞い上がった僕に  
つきあってくれたんだ

えっと…  
色々…

反省してます…

やっぱり羽川は  
なんでも知ってるんだな

もう…

なんでもじゃないよ

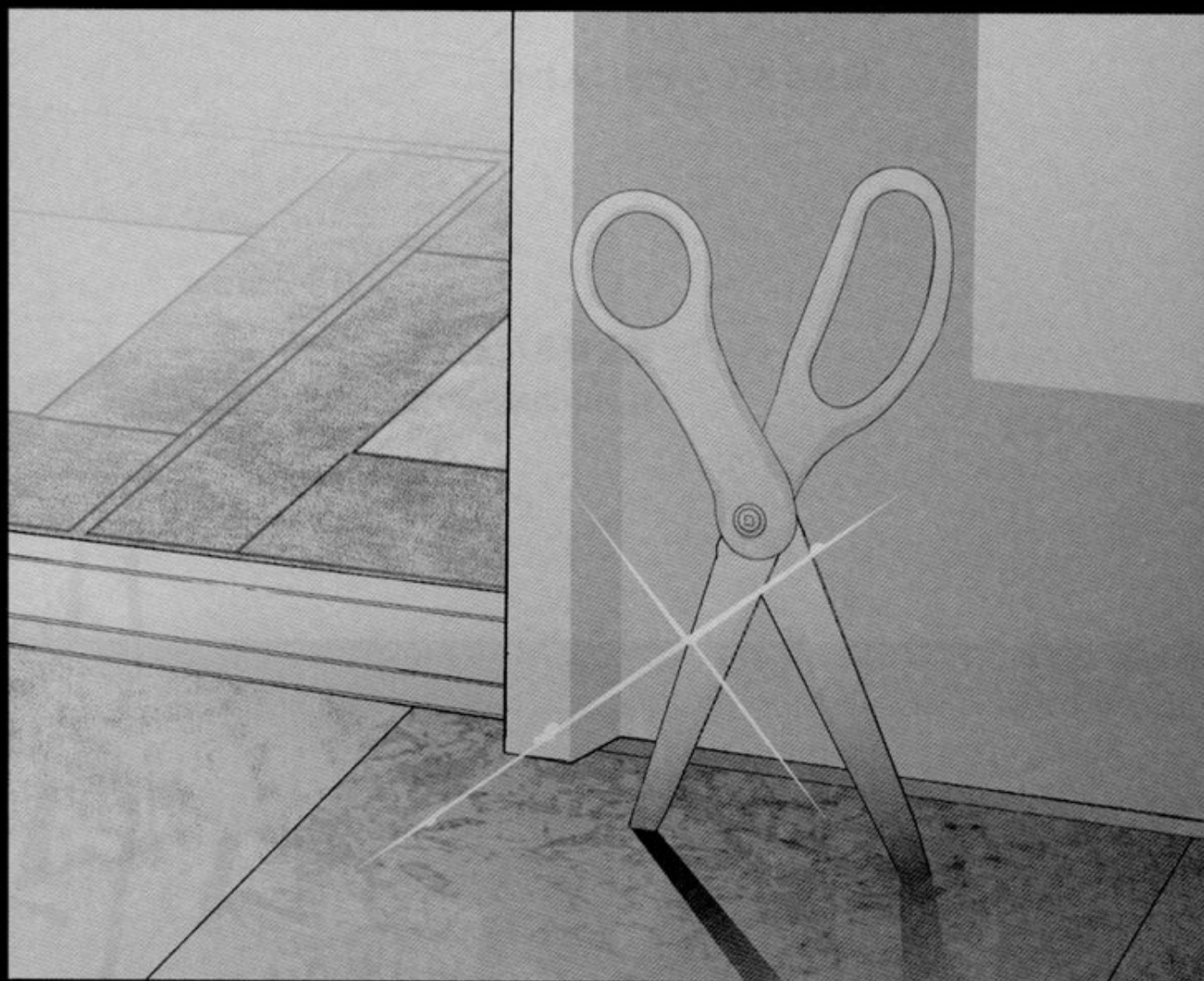
そうして  
恥ずかしそうに  
キメ台詞を言う  
僕の彼女はとても  
エロくて

知ってることだけ

もう一回とか言ったら  
殴られるだろうかとか  
考えた

僕は——

羽川翼を選んだ



ROOT

# HAPEKASHA

RIKUDO-JUKU PRESENTS

## episode 2

私は私——というのは

全てを押し殺したままの私のままという意味での私という意味

——のまま

阿良々木くんを手に入れた

彼を好きだという

私の中の唯一の真実は現実になった







阿良々木くんっ

あッ

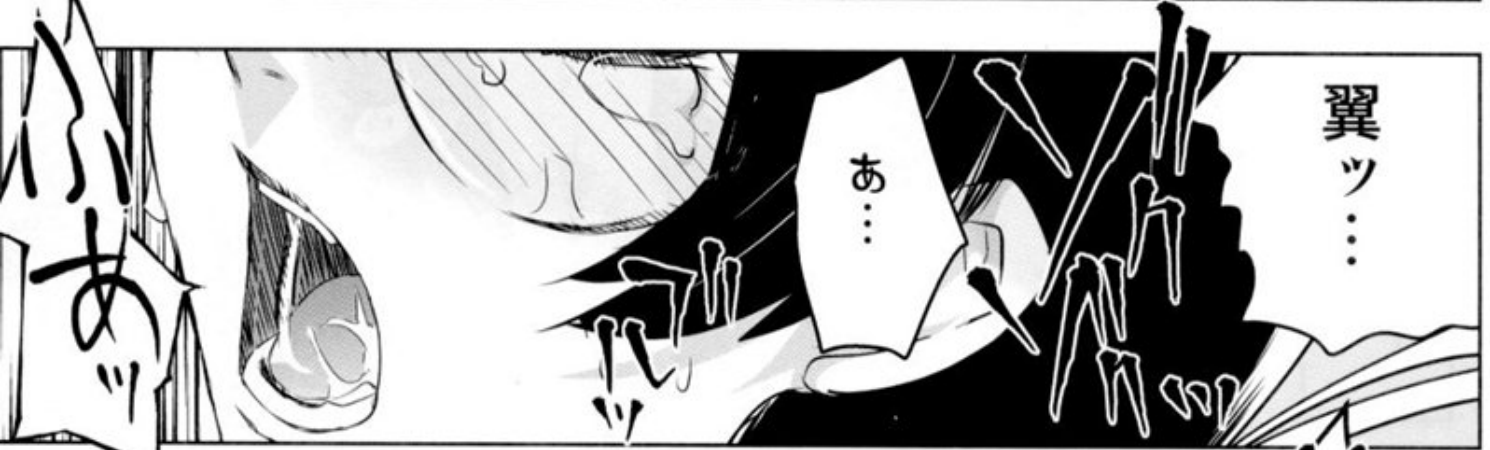
アッ

アッ

アッ

アッ

アッ



翼ッ...

あ...

あッ



アッ

アッ

アッ

アッ

アッ



アッ

アッ

アッ

アッ

アッ



抜い…

ちやうの？

翼今いったら？

少し休まないとか  
キツいんじゃないか？

ありがと…

阿良々木君が  
名前を呼んだ  
せいだ

何回も変わった  
苗字なんかじゃなくて—

私の名前を—

でも…

この子  
ちよと  
辛そうだよ？

そこは確かに  
別の人格を  
持つてはいるが  
可愛く擬人化されると  
少しへこむな

彼に抱かれるのは  
嬉しい

求められるのは  
嬉しい

もう……

彼は健康的な男子だったので  
私の方から求めるとい  
う  
恥ずかしくない思っている  
しなくて済んでいる

初めてのときに勢いで  
膣内に出して  
しまったことを  
何度も謝罪されたので  
避妊のため  
低用量ピルの  
服用を始めたことを  
話したら少し  
引いていた

このあいだ  
やりたがってた  
あれ……  
する？

する！

それ以来  
少し遠慮がちに  
なったのは  
私を気遣っての  
ことだろうか……

真宵ちゃんの事が  
あったので  
胸の大きさを嗜好も  
心配だったけれど

問題  
無かったようだ

おお……

男の夢！

夢はもつと  
大きく持とうよ

十分に壮大な  
夢なんだけどな……





少し勇気を...  
いや恥を忍んで  
言ってみた

ねえ  
阿良々木くん  
もっと  
阿良々木くんの  
したいように  
していいんだよ?

彼は少し  
びっくりしたような  
目をした



それから  
一週間

彼とろくに  
話をしていない

もとより  
双方の合意で  
周囲には普段と  
変わらないように  
振る舞うという  
ことにしている

そして  
彼は授業が終わると  
私の目を避けるように  
帰宅してしまうのだ

何か――

私は何か  
したんだろうか

私は何か  
まずい事を  
言ったんだろうか



人との距離が  
こんなに  
近くなったり  
遠くなったり  
したことのない  
私は

カ  
タ  
ニ

物心ついて以来  
初めて途方に  
暮れた――



阿良々木くん！

羽川：  
じゃない  
翼：  
あのさ……

阿良々木くん！  
どうして

別れ話なんか  
されたら……

私は  
どうなるんだろう

おわつ！  
待った！

あ……



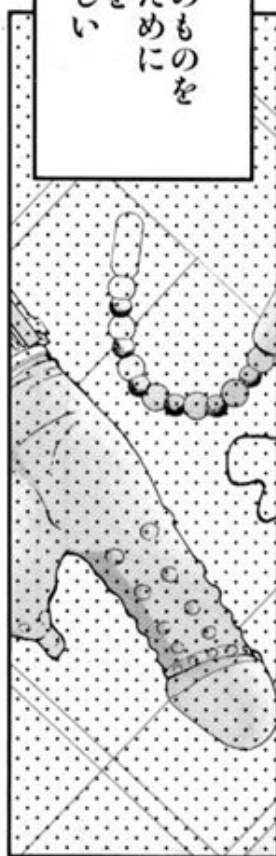


なんて――

なんのことはない  
私の赤面者のセリフは  
直球で彼の好奇心を  
刺激していたのだ



彼はこれらのものを  
手に入れるために  
アルバイトを  
していたらしい



阿良々木くんのとてつもなく不器用な  
言い訳はともかく

健康器具だ！





つい小一時間  
お説教を  
してしまった

まさか彼も私が  
躰の芯から  
喜んでしまった  
照れ隠しだとは  
思わないだろう

この余計な一言さえ  
なければ

でも…

せっかく買ったものを  
使わないのは  
もったいないね…

待つて！  
阿良々木くん！

一度出直して  
集合しましょう

色々と  
準備も  
しないと  
いけないし…  
集合ってなあ…

どこか…

塾跡は  
あんまりだし…

互いの家は  
論外だしね…



割り勘だよ？

料金は絶対返す！

ドキドキ



この街にもラブホテルなんてあったんだね…

HOTEL



なんか照れるな

お互い裸になるのは  
勢いで脱いだ  
最初の時以来だね

さすがに  
教室じゃ  
全部脱ぐのは  
マズいかな



ニエ

ハハ



着ていても  
マズいよ…

正直結構  
怖かったんだよ？

嘘だ

…ごめんなさい

いつも上手に  
きっかけを作って  
阿良々木くんのは  
背中を押したのは  
私のほうだ—



ここなら—

何をしても  
大丈夫だね



なんだか最初から  
濡れてないか？

あせこ…

あせこ…



ふっ

んっ





引いたかな

でも求められるのは  
嬉しい



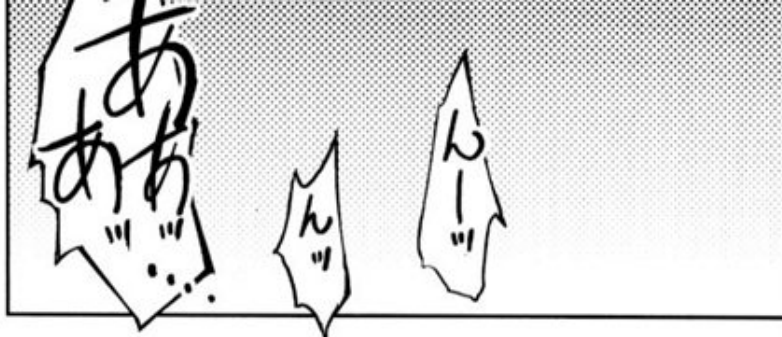
ごめん  
痛かったか？

うっうん？  
なんだか  
変な感覚だけど  
痛くは…

突然指が根本まで  
入ってくるとは  
思わなかっただけ

ゆっくり  
ほぐしていけば  
大丈夫だと  
思う……

：阿良々木くんは  
思ったより強者だ



阿良々木くんが病的な気遣いのひとは分かっていてはいたけれど



認識は甘かったと思おう

大分ほぐれてきた

ここかな？

あふあ...

んっ

あっ



常に意識のオンオフが明瞭な私には生まれて初めてのことで



もう一度か思考が飛んだ

もうりやめ...





待っれ!

待っれえ  
阿良々木くんッ!



僕は翼に  
お尻で感じて  
ほしいんだ!

えっと……  
ムリに感動する  
ところにはなくて

もう……



私ばかりで  
阿良々木くんが気持ちよく  
ないでしょう……

きちんと  
ほぐしておかないと  
気持ちよくないだろう



正直  
調子に乗りました  
ごめんなさい

そうりやなくって……

ゴゴゴ



こんなになつてるんだから大丈夫に決まってるでしょう

もう負けでいいと思った

おおお

ガッガッ



一気にきていいから!

大丈夫だから



ゆっくりするからな...



興奮するなまた翼の初めてをもらえるんだ











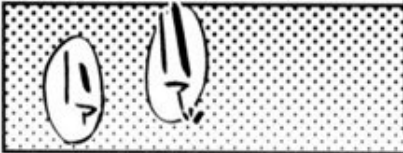






そんな言葉だけで  
また軽くイって…

もう  
何回思考が  
途切れたか  
思い出せない…



自尊心が邪魔をして  
少しだけ間違えた



私は阿良々木くんを  
私のものにしたいと  
思っていた


そう思ってたけれど



彼のものに  
してほしい

私を全部――





私は——

阿良々木くんのものだ



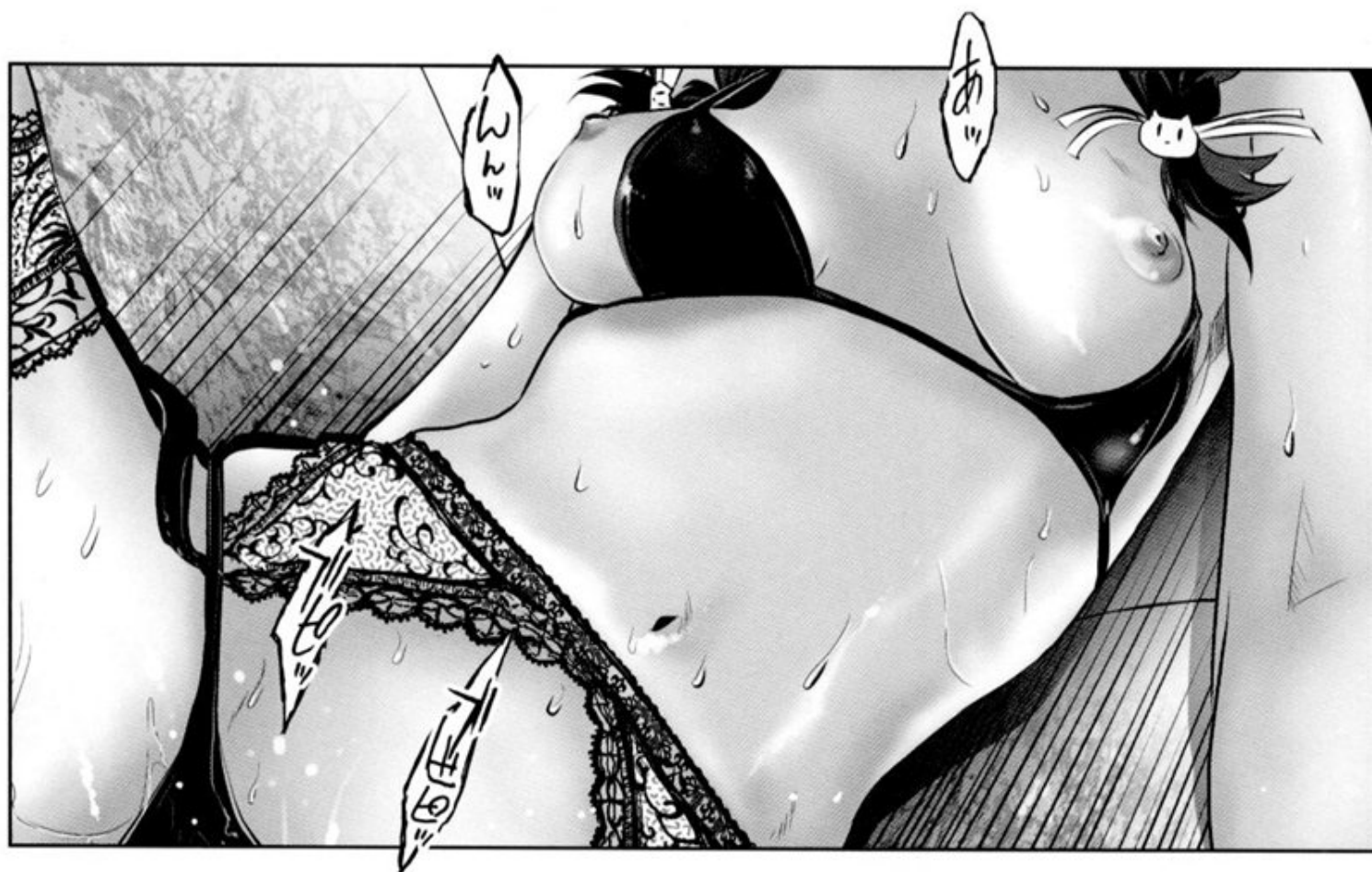
# ROOT **ハネカワ**

## episode 3

まったく……我があるじ様と小娘どもはひとの上(?)で  
ちゅっちゅと鬱陶しいのう

児戯にも等しい睦み合いをいつまで続けるつもりじゃ

む…性交に児戯という例えは条令違反じゃろうか





このところ  
我があるじ様は  
真面目女にご執心な  
ようじや

意外と言え  
意外……でも  
ないのかのう



まあ好きに  
すればよからう



とりあえず  
気遣いも忘れては  
おらぬようじやし？

じゃがまあ  
それにしても  
いい加減……

ものには限度と  
いうものがある

フ  
ン

だめ…  
そこだめ  
阿良々木君!

はッ

ホッ  
ホッ  
ホッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ

ハッ





つける薬がないとは  
このことじやな

出ちゃうー！  
もう  
出ちゃうからー！



出そうだったっ…  
翼っ…

ちようだい…  
阿良々木くんの…

精子っ！…

あー…

うっ…







録音してたら  
お金が取れそうだ

惜しい!

いつもなら  
阿良々木君の  
精子でお腹が  
いっぱいにな  
るんだけど...

ごめんね  
いつもと  
違ったから



枯れちゃった?

酷い事を  
言われた!



ふん...  
血よりも  
精はつくな

トト



ええい  
こんなサーピスは  
滅多にせなんだぞ

のーらいふきんぐの  
営みというものを  
教えてやるかの

影の中からで  
充分じや

躰の  
つかいかたが  
なつておらん



まったたく...  
ひとの上で  
ちゅっちゅ  
ちゅっちゅ  
ちゅっちゅ  
ちゅっちゅと!

地味臭い  
まぐわいを  
しおって



僕って  
絶倫なのか？

オットセイの形  
してないぞ？

これが  
「おやびん」とか  
言ったら可愛いのにね

原稿が盗まれたのは  
気の毒だったなあ

ヤル気まんまんネタで  
いちやつくカッブルは  
珍しいかもしれんう

おやびん!



ええっと...

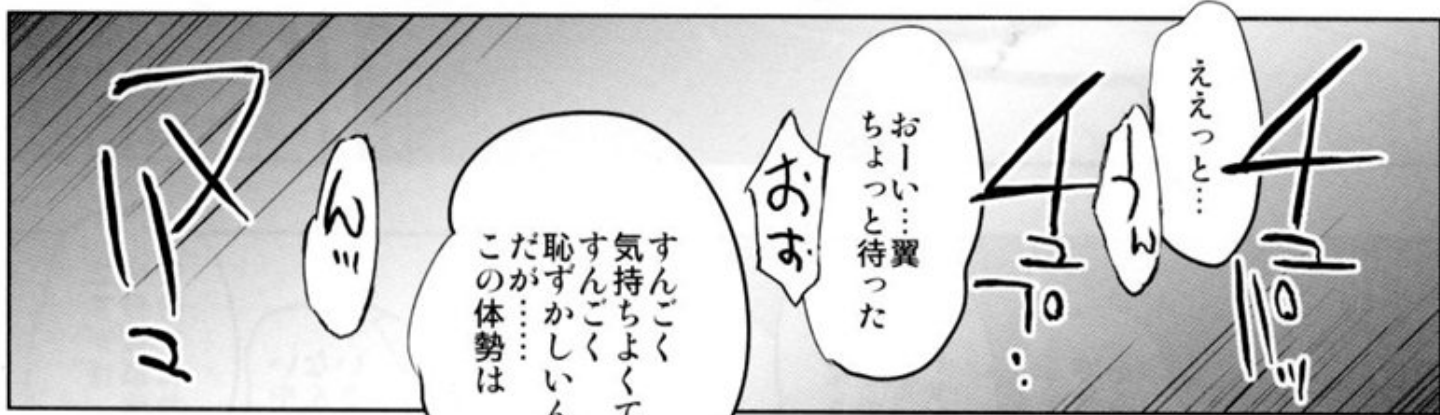
おーい...翼  
ちよつと待った

おす

すんごく  
気持ちよくて  
すんごく  
恥ずかしいん  
だが...  
この体勢は

んッ

んッ



駄目  
らめ

みるつ  
はららひふん  
阿良々木くん  
可愛い

はッ

はッ

はッ

はッ







私のことは  
さつき  
さんぜんいじめた  
でしょう

前と後ろ  
いつべんに  
だなんて…  
びつくりしたん  
だから

うぶ…  
苦しかったか？

…気持ちよくて  
怖かったの

忘我って言うのは  
ああいうことかも

そいつは  
悪かったは



なにが  
忘我か



あ…  
つて言いながら  
恥ずかしい格好  
させるんだから

いや…  
傷がついてないか  
確かめてるんだ

阿良々木くんは  
本当に変態だね

褒められたと  
思っておこう

さいから  
始めんか









わか……じ……  
こ……

感じすぎ……  
あくっ

あ……  
はあっ!

死角無き  
吸血鬼にとっては  
腔内といえど  
剥き出しの粘膜

このような  
普通のまぐわいなぞ  
接吻と変わらぬ

前戯とすら  
呼べぬわ

あ……  
あ……

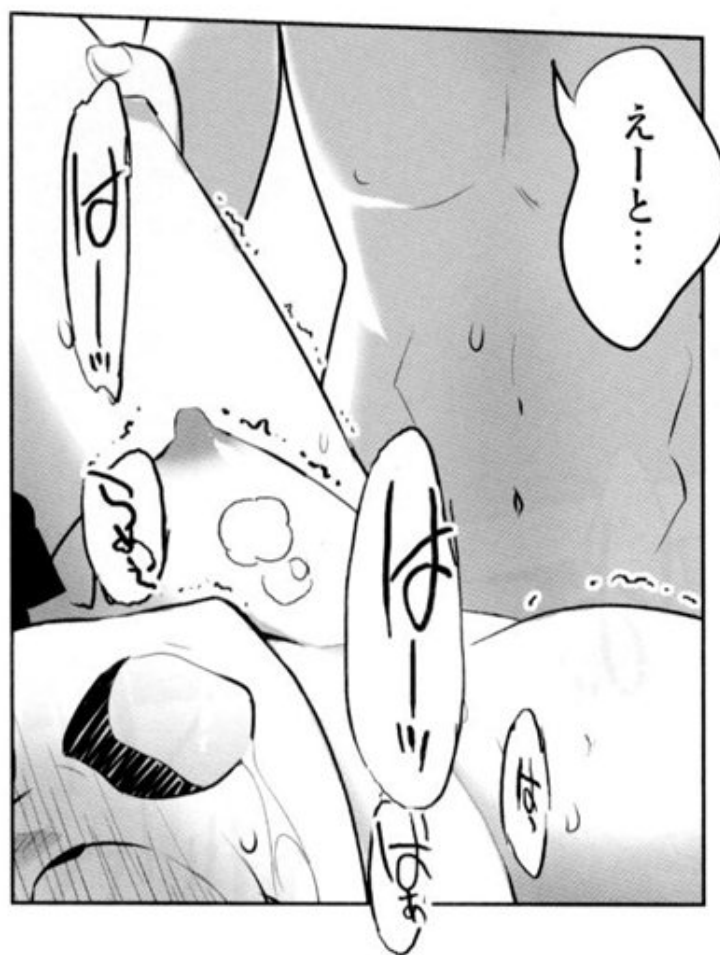
あ……

は……

は……  
は……



神経の集まってるおる  
場所を直に  
刺激すれば  
半死したも  
勃起したものじゃ



忍が何かしているのか?  
放つといたからなあ  
怒ってるのかな





嫌がらせだとしても  
翼は悦んでいる

オツケーだ

かわいいぞ  
もつとやれ

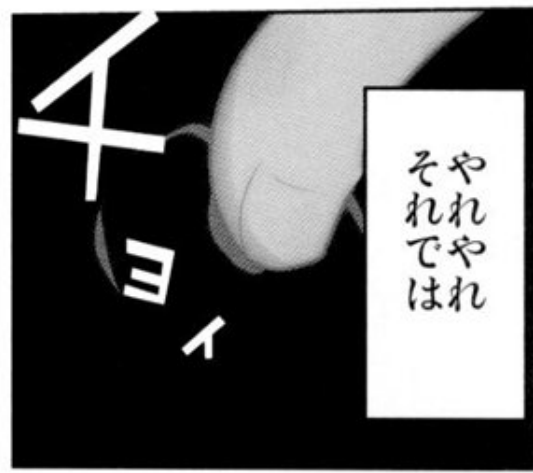
鬼かこいつ



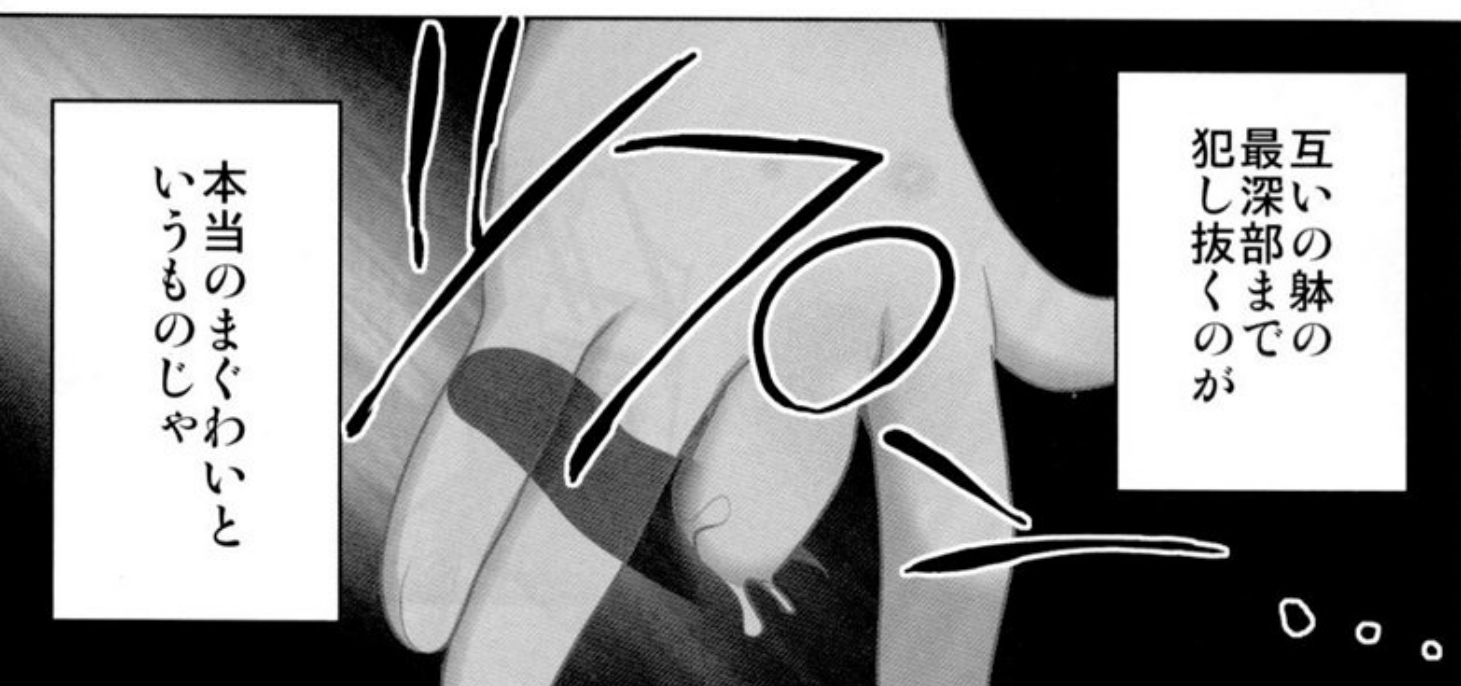
む  
そう  
鬼じゃえ  
ば



本番といこうかの



やれ  
それ  
では



互いの躰の  
最深部まで  
犯し抜くのが

本当のまぐわいと  
いうものじゃ









しばらくは  
絶頂が止まるまい

初心者にと  
やりすぎたか？


えーと

いや 忘我とは  
こういうことじゃ  
ニンゲンよ

果てぬ快樂とは拷問と紙一重じゃ

苦痛なほどの快樂でもなければ永遠は紛れぬ

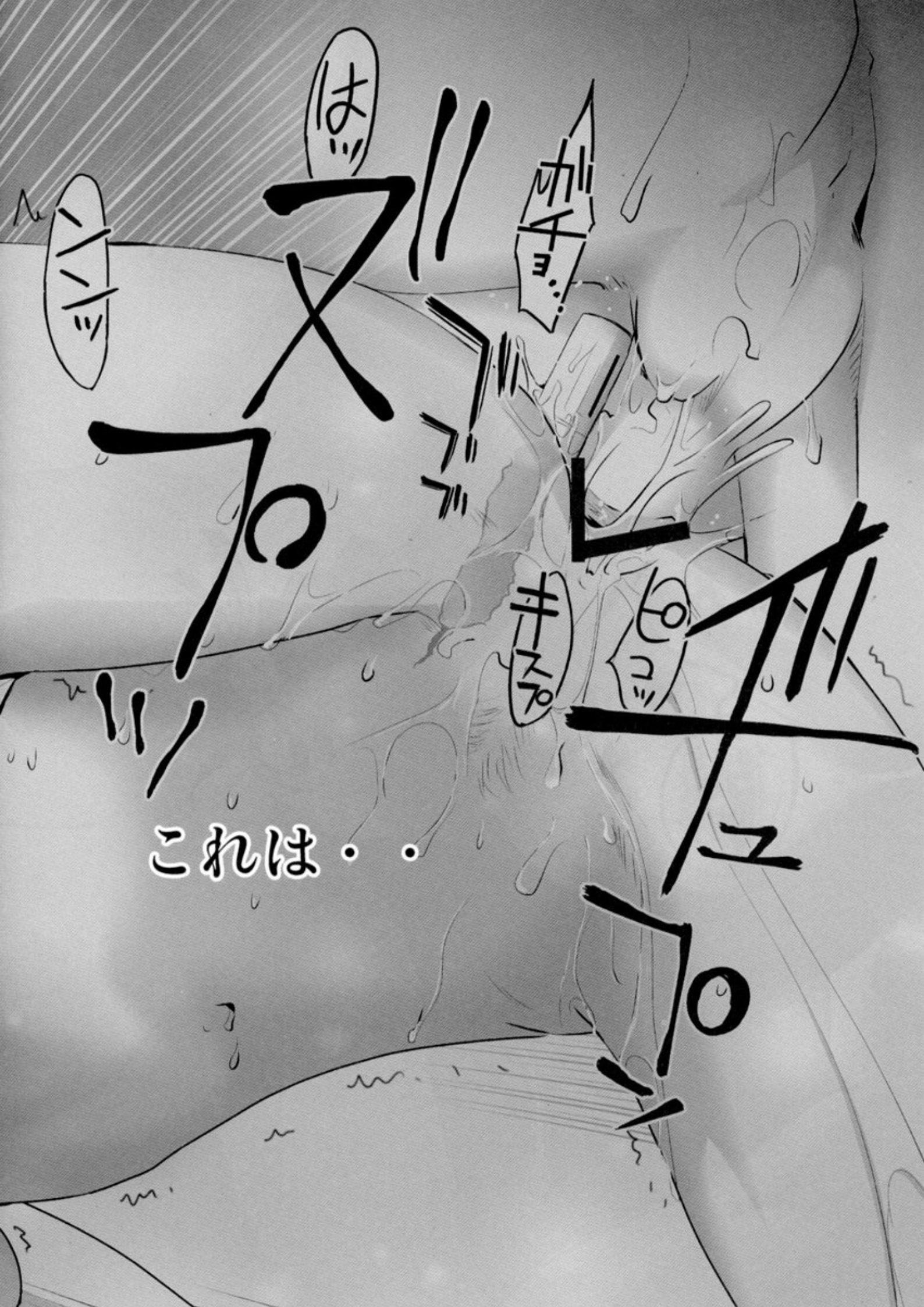




われらの花嫁になるとはそういうことじゃ

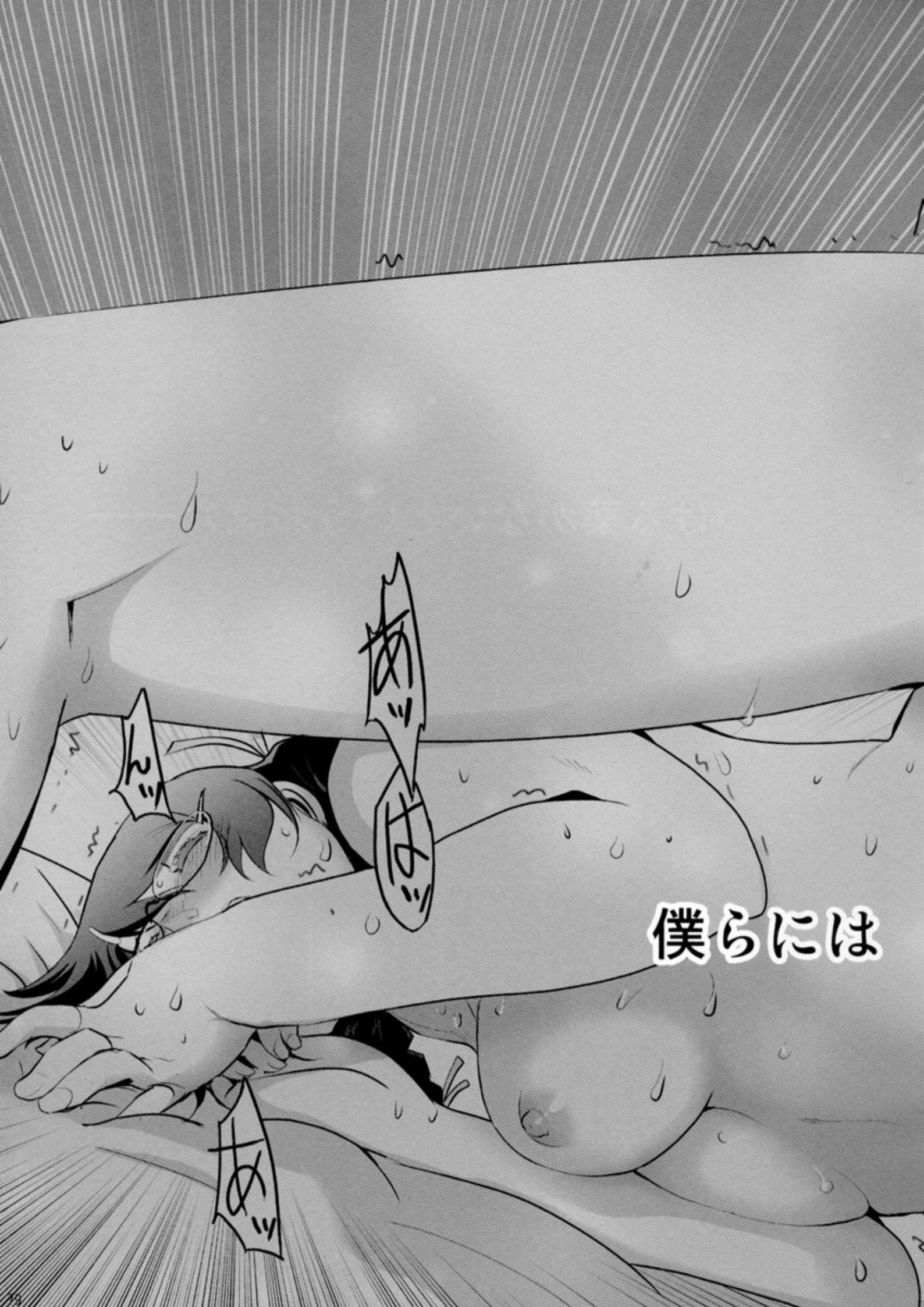






これは . . .





僕らには



つける薬がないというお話だ——

FIN

えー毎度毎度・・・

出てまあがーこの本。

もしも出ていて、尚且つとなたかの目にとまった上に、  
描き手のバカちゃんはちょっと気が触れてるんじゃないかと  
感想を抱く方がおられましたら、心から御礼申し上げます。

世の中いろいろと大変なので、これなときこそお祭りです。  
祭りの効用は正しく使うべきです

それにしても春アニメが豊作だったのに全部シカトして  
これはっかしであみませぬ、これで最後です

でも傷物語映画あるしな…

小説もあと二冊でなにが起るかわかんないしな……

わーい、なごこビッチ

大丈夫、この調子で次回も平常運行でお会いしましょう。

2011年8月

六道神士UC





-ROOT HANEKAWA ALL-

六道神士UC

発行・六道塾

成人向